

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 320 事業名 こどもの広場運営事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
取組	2	地域で取り組む子育て環境づくり

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	子ども家庭課	川口 隆弘 (435-1219)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童福祉総務費		
	大事業	児童福祉総務事業		
事項	こどもの広場運営事業			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
	○		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	子ども連れの来庁者が、様々な申請や手続きの際に、安心して落ち着いてを行えることを目的に、子どもが自由に遊べるスペース及び授乳スペースを提供する	東庁舎2階子ども家庭課前の託児スペースにおいて保育士を配置し、保護者の方が各種申請や相談に専念できるよう子どもの安全を確保するとともに、子ども家庭課前と本庁舎1階北側に授乳スペースを確保する また、子ども家庭課前と本庁舎1階に授乳スペースを確保する				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		こどもの広場の開設	こどもの広場の開設	こどもの広場の開設	こども広場の開設	こども広場の開設

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	145	103	145	102	247	94	138	128	127	
伸び率 (%)	-	-	0.0%		70.3%		-44.1%		-8.0%	
人件費	常勤職員	3,357	3,653	3,357	2,693	2,693	2,791	931	931	931
	非常勤職員	2,292	2,733	2,292	3,229	3,229	3,633	1,758	1,758	1,758
	小計	5,647	6,386	5,647	5,922	5,647	6,422	2,687	2,689	2,689
国庫支出金	0	0	0	0	0		0		0	
県支出金	0	0	0	0	0		0		0	
市債	0	0	0	0	0		0		0	
その他	0	0	0	0	0		0		0	
一般財源(税等)	145	103	145	102	247	94	138	128	127	
所要人数	常勤職員	0.44	0.48	0.44	0.36	0.36	0.37	0.36	0.13	0.13
	非常勤職員	1.58	1.33	1.58	1.28	1.28	1.44	1.28	0.83	0.83
主な予算内訳	消耗品費70千円、障害保険料50千円、庁用器具費7千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	開設日					年度目標値	241	243	242	244	240
						実績値	241	243	242	244	
	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
						年度目標値					
成果指標	利用人数					年度目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
						実績値	5,127	6,329	5,006	6,445	
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度	100.1%	126.6%	100.1%	128.9%
						年度目標値					
単位	日	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
					実績値						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	子供連れの来庁者が、様々な申請や手続きをする間、子どもが自由に遊べるスペース及び授乳室が必要である。
「見直し」 「改善」案  ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	